

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0005  
 住 所 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル17階  
 氏 名 株式会社デイ・シイ 印  
 代表取締役 森 紀雄  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社デイ・シイ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区浅野町1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	21	窯業・土石製品製造業
主たる事業 の内容	セメント、固化材の製造販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	87,722	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	406,627	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎工場生産課生産係
		所在地	川崎市川崎区浅野町1番1号
		電話番号	044-322-5368
		FAX番号	044-322-7935
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	セメント製造設備について、エネルギー負荷の低減及び化石燃料を廃棄物に置換することを中心として排出量の抑制を図る。 詳細は、指針様式第1号(第4、5面)のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	低CO2川崎パイロットブランド'09に選定 製品名：高炉セメントB種 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	・川崎温暖化対策推進会議(CCエコ会議)への参加 ・グリーン購入の推進 ・運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
備 考	当社の環境報告書について、ホームページで公表しています。 <a href="http://www.dccorp.jp/environment/index.html">http://www.dccorp.jp/environment/index.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

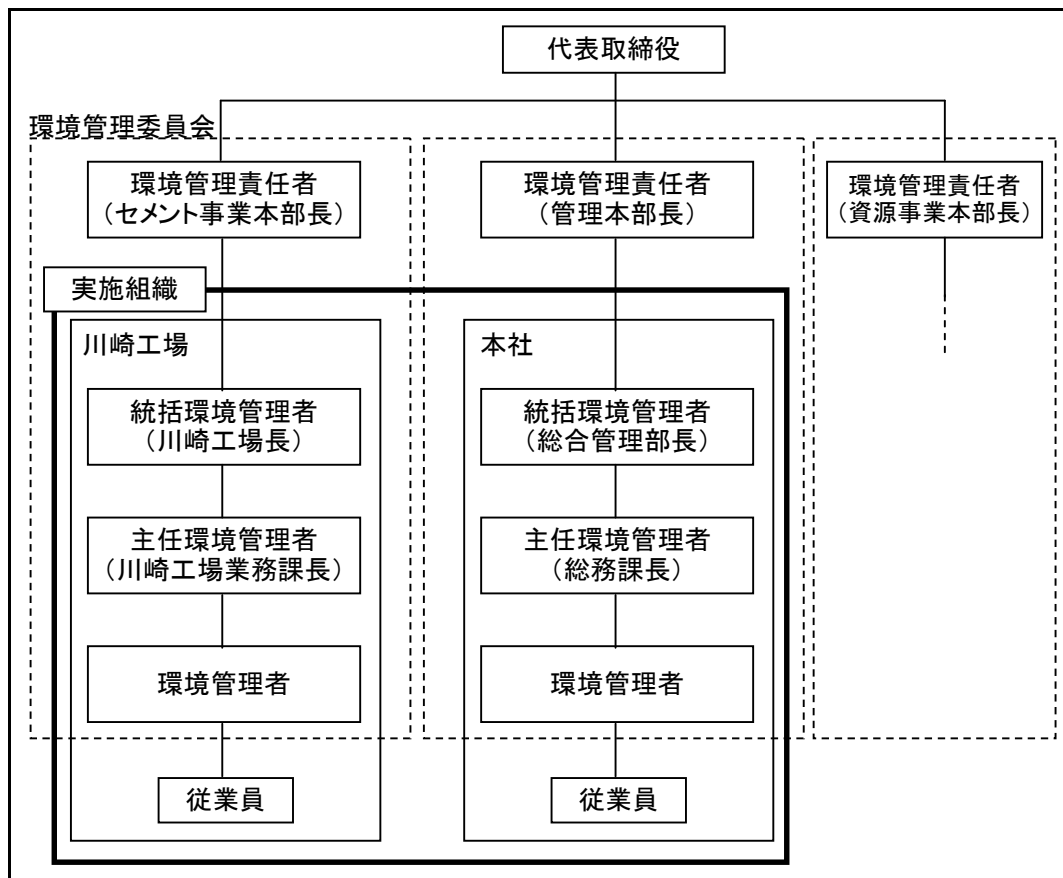
## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

環境方針の中の一つに、  
 「省資源、省エネルギーの推進及び廃棄物の再資源化と有効利用の拡大に取り組み、地球温暖化を防止し、資源循環型社会の構築に貢献します。」  
 と掲げ、  
 セメント製造時のエネルギー消費とCO2の排出量を的確に把握しながら、地球温暖化防止を継続的に推進していく。

川崎工場においては、工場方針として  
 「生産コスト低減（CO2低減）」  
 と掲げ、  
 安定運転、原価低減運転を推進するとともに、CO2排出量の削減を行っていく。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 648,609 (調) 609,419 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 646,189 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 0.4 %	削減量	(実) 2,420 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	セメント生産量	単位	kg-CO <sub>2</sub> /t
基準年度の値	610.8	目標年度の値	608.5
削減率	0.4 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

<p>温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、エネルギー起源（セメント製造用熱エネルギー<sup>(注)</sup>＋自家発電用熱エネルギー＋購入電力エネルギー）の排出量原単位の値を平成24年度の年平均で1%以上削減することを前提とし、排出が避けられない非エネルギー起源（原料起源のCO<sub>2</sub>で、主原料である石灰石の熱分解によって発生（CaCO<sub>3</sub>→CaO＋CO<sub>2</sub>）する）を合わせて0.4%削減に目標を設定した。</p> <p>排出量はセメント生産量に大きく左右されることから、原単位として0.4%削減することとし、目標排出量の算定に当たっては、基準年度と同一の生産量と仮定した。</p> <p>石炭の代替燃料として産業廃棄物を積極的に有効活用していく。</p> <p>セメントの需要減少による減産運転の中で、その生産体制に応じた省エネ活動を行い、温室効果ガスの排出量の更なる削減を図る。</p> <p>(注) セメント製造用エネルギーの種類：石炭、重油、都市ガス</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>○省エネ活動の推進 特に生産量の減少に合わせた運転の高効率化、無駄を省くことを、更に進めていく。</p> <p>○産業廃棄物の積極的有効利用による石炭使用量削減</p> <p>○昼休み中の消灯、パソコンモニタの電源OFFの推進</p> <p>○高炉セメントの積極営業活動</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

石炭の代替としてバイオマスエネルギー源を積極的に利用する。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
バイオマス汚泥	川崎工場 置場480m <sup>2</sup> 処理量7100t/年	平成17年	
バイオマス(廃畳)	川崎工場 置場42m <sup>2</sup> 処理量100t/年	平成21年	

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネルギー設備の導入については、大正6年の操業開始以来、種々にわたり多額の投資を行っている。  
 ここ最近の取組みとしては、  
 ○リサイクル資源の燃料化設備の導入  
 ○インバータ化等による消費電力の削減  
 ○製造過程でCO<sub>2</sub>排出量の少ない高炉スラグを利用した製品の開発

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

<ul style="list-style-type: none"><li>・低CO2川崎パイロットブランド'09に選定 製品名：高炉セメントB種 CO2削減量：ライフサイクルCO2を約40%削減</li></ul>
--

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

<ul style="list-style-type: none"><li>・川崎臨海部の企業が中心となって立ち上げた「NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター」を中心に「川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）」、「カーボンチャレンジ川崎エコ戦略」、「資源循環型社会形成連絡会議」などに参画する。</li><li>・グリーン購入の推進を行なう。</li><li>・運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請</li></ul>
---

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	648,609	t-CO <sub>2</sub>
(調)	609,419	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎区浅野町 1 番 1 号	2121	セメント製造業	648,567 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎区浅野町 1 番 1 号	2121	セメント製造業	648,567 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	1
------	---